



ともに暮らし、ともに歩み、 ともに生きていく国産材家具を

🌿地域材の特性と加工技術に合わせた提案を行っている
国産材家具



「国産材家具を通して、林業からお客様に至るまで、みんなが幸せになる仕組みづくりを行いたい」と語る株式会社ディノス・セシール家具・収納部 収納ユニットマネージャーの樋口 泉さん(左)と広報室CSR・社内広報ユニットの山内 三保子さん。

フォレスト
サポーターズ



美しい森林づくり推進国民運動

株式会社ディノス・セシール



森をささえよう



森と暮らそう

「国産材家具の企画を進めるにあたっては、私たちは次の3つの「こだわり」を掲げました。

① 高品質な家具を顧客価値に見合った価格で提供するためには、コストをどこかで減らす必要がありますが、木材の購入価格を下げることはできません。そこでこれまでの家具づくりのノウハウ・経験を活かし、パネル部分等の部品を共通化して生産効率を良くしたり、「端っこ」と呼ばれる、曲がりや凹凸があつて建築材には使われない木材を積極的に使用していくことで価格を抑えています。

② 無垢材ならではの香りや素材感が楽しめるように加工や塗装、仕上げにこだわる

③ 日本の美しい森林を守るため、できるだけ間伐材を使用した家具づくり

株式会社ディノス・セシールは、各種のメディアを通じた通信販売事業等の中で、国産材家具にこだわりの持ち運び取り組んでいる企業です。

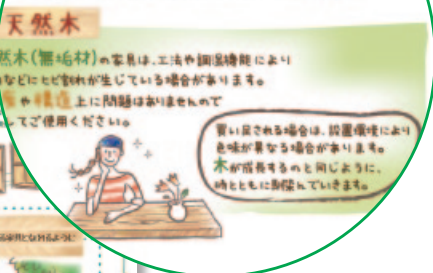
今回は、この国産材家具の企画に当初から関わってきた家具・収納部の樋口 泉さんと、広報室CSR担当の山内 三保子さんにお話をうかがいました。

フォレスト・サポーターズ

4つのアクション 活動紹介



通販カタログには、商品紹介のほか
に国産材の説明や木を使うことの意義など
が丁寧に紹介されています。



ディノス企画商品である国
産材家具に同梱されている絵
手紙。木製品の特徴や手入
れ法などがイラストを使って
紹介されています。



エコプロダクツ2013(平成25年12月)
株式会社ディノス・セシールでは、国産材家具の
一部アイテムを展示したほか、休憩所に上記写真
の国産材家具を提供しました。

今日からやろう! 森のための

4つのアクション



森にふれよう



木をつかおう

お客様に国産材の優れた点や意義
を理解していただき、また国産材家
具を永く使っていただくため、無垢
材の特徴や手入れ方法等を紹介した
絵手紙を企画商品に付けてお送りし
ています。この取り組みを通して、
使うとともに風合いが変化していく
ことこそが、まさに家具が私たちと
ともに暮らし、ともに歩み、ともに
生きている証であり、家具となっ
ても木は生き続けていることに気付い
てほしいと思います。

昨年12月に行われた日本最大級
の環境展示会・エコプロダクツ
2013では、国産材家具の11アイ
テムを展示したほか、会場内の休憩

こうして平成23年4月に、森を育
てる匠の家具として「東濃檜の家具」
を発売しました。この商品は材の質
の高さや丁寧なつくり、価値感のあ
る価格といった商品そのものの魅力
に加えて、森林と林業の再生につな
がるというメッセージがお客様の心
をつかんで大ヒット商品となり、現
在では7つのシリーズを展開してい
ます。

国内には、東濃檜の他にも紀州
檜や木曾檜、四万十檜、兵庫杉、
日田杉といった優れた地域材があり
ます。今後も、こうした地域のブラ
ンドを掘り起こしていきたいと考え
ています。

国産材家具のホームページを開設

<http://www.dinos.co.jp/special/fur/wood/>

3月14日、株式会社デ
ィノス・セシールの国産材
家具、道具を紹介するホ
ームページ、「木のある暮
らし」が開設されました。
このホームページでは、
産地別に商品を見ることが
できるほか、産地・生
産者の方からの問いい
合わせも受け付けています。



所に国産材家具を提供し、木の感じ
られる会場づくりに協力しました。
この展示会では、消費者からだけ
なく、日本各地で国産材の生産や加
工に携わっている方々からの反響も
大きく、自分たちの地域材を活かし
て何かできないかといった相談を受
けました。

今年は、震災復興に向けた取り組
みとして、福島県の南相馬市、いわ
き市、浪江町において、合計290
本のサクラを植樹する予定です。ま
た、今後は、お客様に森林をより身
近に感じていただけるよう、国産材
家具を生み出している森林を見学す
るツアーなども企画してみたいと思
っています。